

平成23年度 芦屋市保健センター運営審議会会議録

日時	平成24年3月22日(木) 13:30~15:00
会場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	委員長 立花 久大 委員 河盛 重造 委員 多田 羅 猛 委員 広瀬 隆也 委員 仁科 睦美 委員 姉川 詔子 委員 北井 明 委員 鈴木 紀元 委員 津村 直行 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子 久保田 あずさ 田中 佐代子
事務局	健康課
会議の公表	公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

(1) 議題

- ・委員長及び副委員長の選任
- ・平成23年度保健センター事業の実施結果について
- ・平成24年度保健センター事業について

(2) その他

(3) 連絡事項

2 提出資料

資料 - 1 平成23年度主要事業の実施結果について

資料 - 2 平成24年度保健センター事業について

3 審議経過

【開会】

(事務局北口) それでは定刻になりましたので、芦屋市保健センター運営審議会を開催いたします。

はじめに、新委員を紹介させていただきます。芦屋市保健福祉部こども・高齢者・健康担当部長の津村直行でございます。なお、委員の皆様の任期ですが、平成23年4月1日から平成25年3月31日までとなっておりますのでねよろしくおねがいします。

また、この会議は、芦屋市情報公開条例に基づき会議は公開となっております。委員の皆様のお名前・肩書き・会議録・会議録中の発言も公開となっておりますのでよろしくお願いたします。

それでは、議題1にはいります。委員長及び副委員長の選出を行いたいと思えます。芦屋市保健センターの管理に関する条例施行規則第11条第2項の規定に基づき、委員長及び副委員長は委員の中より互選するとなっておりますが、どなたかご

推薦がないでしょうか。

(河盛委員) 立花先生を委員長に推薦します。

(事務局北口) ただ今河盛委員より立花先生を委員長にとの推薦がありましたが、異議はありませんでしょうか。異議がないようですので、委員長に立花先生お願いします。次に副委員長について、どなたかご推薦ありませんでしょうか。

(河盛委員) 北井先生を副委員長に推薦します。

(事務局北口) ただ今河盛委員より北井先生を副委員長にとの推薦がありましたが、異議はありませんでしょうか。異議がないようですので副委員長については、北井先生よろしくお願いいたします。それでは、委員長・副委員長以後の議事の進行をお願いいたします。

(立花委員長) 兵庫医科大学病院の立花でございます。この1年皆様と一緒にこの芦屋市保健センター運営審議会をすすめていきたいと思っております。御協力よろしく申し上げます。それでは、議事を始めます。議題2「平成22年度保健センター事業の実施結果について」事務局、説明をお願いします。

(事務局瀬戸山) まず、資料の確認をお願いいたします。それでは、資料1についてご説明いたします。

(資料1の説明)

(立花委員長) どなたか、今の説明に質問、意見はございますか。

各種健診について、要精険となっておりますが、最後の医療の結果はわかりますか。例えば、子宮がん検診では、要精密検査が25人となっておりますが、この後の結果はわからないのですか。

(事務局瀬戸山) 平成23年度の結果は、まだ取りまとめられていませんが、子宮がん検診については、平成21年度要精密者67名のうち、要精密検査受診者が44名で、そのうちがんであったものが4名いたという結果を把握しています。

(立花委員長) わかりました。どなたか、他にありませんか。なければ、平成24年度保健センター事業についての説明を事務局お願いします。

(事務局瀬戸山) 平成24年度の保健センター事業について説明します。

(資料2の説明)

(立花委員長) ありがとうございます。非常に広範な事業についての説明をいただきましたが、どなたか、今の説明に質問、意見はございますか。

(広瀬委員) 乳がん検診・子宮がん検診については、5歳刻みの対象に無料クーポン券を発行しているのと、平成24年度からは、肝炎ウイルス検査についても無料券を発行して、無料で検診が受けられるということですか。

(事務局瀬戸山) 肝炎ウイルス検査については、できるだけ特定健康診査と同時実施という方法で考えています。採血の検査なので、採血が一度で済むように考えています。

(広瀬委員) 無料の方は、受診率が高いというのはありますか。

(事務局瀬戸山) 無料クーポンで受診しやすくなっていると思いますが、びっくりするほど受診率が上がるというほどではないです。例年、クーポンの受診率は20%程度です。

(仁科委員) 子宮頸がん予防ワクチンは無料ですか。

(事務局瀬戸山) 無料です。中学1年生から高校1年生に対して、2種類のワクチンのどちらかを選んで3回接種するというものです。

- (多田羅委員) ポリオのワクチンですが、これは生ワクチンですか、不活化ワクチンですか。芦屋市は、従来そのままですか。
- (事務局瀬戸山) 生ワクチンです。
- (多田羅委員) 行政によって、独自で購入したりしていますがそれはどうなのですか。
- (河盛委員) 予防接種というのは、補償とセットで考えないといけないです。定期接種については、接種費用の問題は無料なのと健康被害が出て国がきちんと補償してくれますが、神奈川県の場合は、県がワクチンをまとめて輸入するだけで、費用については、全額自費ですし、健康被害についての補償もないので、小児科医会としては、問題がある方法だと思っています。不活化ワクチンが完全に安全なワクチンというわけではなくて、どのような予防接種であれすべて安全とは言えないので、補償のない状態で接種するのはよくないと思います。
- (立花委員長) 他にありませんか。それでは、その他お願いします。
- (姉川委員) 平成24年度芦屋市健康福祉事務所地域保健課の定例業務日程です。感染症診査会については、医師会の平林先生に委員長を務めていただいております。その他に事業については、変更はありません。
- (立花委員長) 他にはありませんか。
- (河盛委員) これは、予防接種の会の方がよいのかもしれませんが、3ワクチン以外の水痘やおたふくかぜといった任意接種についても、行政の保険に入っているところが兵庫県下にもものもあり、保険の費用は同じで対象のワクチンを広げているところもありこのあたりについては、芦屋市はどうお考えですか。
- (事務局北口) 今、全国市長会の予防接種の保険に加入しています。これは、市の認めた法定外接種を含むもので、現在それには、BCGの6か月から1歳までの接種と3種混合の期間はずれ接種分と3ワクチンについて認めています。この中に、他の任意接種も含めてすればいいということかもしれませんが、それだけで本当によいかどうかやできるかどうかについては、調べてみないとわかりません。
- (河盛委員) 淡路とか他の地域については、本人の自己負担はそのままですが、何かあった時の補償については認めてもらえるそうです。行政の負担も増えないのであれば、予防接種を受ける人が安心して受けられるようにすることができるようにしたらよいと思います。
- (事務局北口) 市が必要と認めたとすることができれば可能だと思います。
- (立花委員長) 他にはありませんでしょうか。何か連絡事項はありますか。
- (事務局瀬戸山) 平成24年7月28日に、芦屋市健康福祉フェアを予定していますので、また御協力をよろしくお願いいたします。
- (立花委員長) これで第1回保健センター運営審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。

【閉会】